

- (1) 正解②: グレンとウィルマは、たいてい週末に洗濯をします。

[解説] usually と on weekends があるので、「ふだんの習慣・反復」を表す文です。この場合は現在形を用います。主語は Glen and Wilma で複数なので、動詞は do になります。① are done は受動態で不自然です。③ have been doing は現在完了進行形で、「ずっと続けている」という意味になり、習慣を表すこの文には合いません。④ have done は現在完了で、「すでに終えた」という意味合いが強く、usually と合いません。したがって do が正解です。

- (2) 正解③: 私は毎日学校へ行く途中で、たいていたくさんの犬や猫を見かけます。

[解説] each day と generally があるので、これも「毎日の習慣・反復」を表す文です。したがって現在形 see を用います。① were seeing は過去進行形で、「そのとき見ていた」という一時的動作になります。② am seeing は現在進行形で、今まさに進行中の動作を表すため不適切です。④ was seen は受動態で、「私は見られた」という意味になってしまいます。日常的にくり返す内容なので、現在形 see が正解です。

- (3) 正解②: 私の父は、たいてい午後 7 時に仕事から帰宅します。

[解説] usually があるため、「ふだんの習慣」を表す文です。したがって現在形を用います。主語 My father は三人称単数なので、動詞は comes と -s が必要です。① is coming は現在進行形で、一時的な進行中の動作を表す形です。③ come は原形のままで、三単現の -s が欠けています。④ has come は現在完了で、「もう帰ってきている」という結果の意味になり、usually と合いません。したがって comes が正解です。

- (4) 正解①: 私はたいてい 8 時ごろに家を出ます。

[解説] usually があるので、この文は「ふだんそうする」という習慣・反復を表しています。したがって時制は現在形です。主語は I なので動詞は原形 leave を用います。② am leaving は「今まさに出ようとしている」という現在進行形、③ will leave は単純未来、④ will be leaving は未来進行形で、どれも usually と合いません。習慣を表す現在形 leave が正解です。

- (5) 正解①: 水は摂氏 100 度で沸騰します。

[解説] この文は、水の性質について述べた「不変の真理・科学的事実」です。このような内容は現在形で表すのが原則なので boils が正解です。② is boiling は「今まさに沸騰している」、③ was boiling は過去、④ used to boil は「以前は沸騰したものだ」となり、一般的真理の文にはなりません。boil は自動詞なので、現在形 boils を用いるのが最も自然です。

- (6) 正解②: 高校生ならだれでも、水は 0 度で凍ると知っています。

[解説] water freezes at 0°C も、(5) と同様に「普遍的事実」を述べる文です。したがって現在形 freezes を用います。① is freezing は進行形で「今ちょうど凍っている」、④ was freezing は過去進行形なので不適切です。③ freezed はそもそも形が誤りで、freeze の過去形は froze です。ここでは時制の判断だけでなく、基本的な動詞の活用も確認する必要があります。

- (7) 正解①: 「昨夜は何をしたの。」「テレビを見て、ピアノを練習して、宿題をしました。」

[解説] What did you do last night? とあるので、答えも昨夜の出来事を表す過去形でそろえる必要があります。watched, practiced と並列になっているため、空所にも did が入ります。

- ② have done は現在完了で、last night のような明確な過去とは使えません。③ would do は「よく～したものだ」など別の意味になります。④ do は原形で、時制がそろわないので不適切です。
- (8) 正解②:私が学生だったころ、父はときどき宿題を手伝ってくれました。
 [解説]when I was a student があるので、文全体は過去の時点を回想しています。したがって help も過去形 helped にするのが正解です。① helps は現在の習慣、③ has helped は現在完了で「今とのつながり」を表し、④ is helping は現在進行形なので、この過去の文脈には合いません。sometimes があっても、基準時が過去なら「過去の習慣」として過去形で表す点が重要です。
- (9) 正解③:その男性は 2011 年に仕事を失い、それ以来ずっと仕事を探しています。
 [解説]前半には in 2011 という明確な過去の時を表す語句があるので、動詞は過去形 lost にします。① has lost は現在完了ですが、現在完了は in 2011 のような明確な過去時とはふつう使えません。② had lost は過去完了で、基準となる別の過去が必要です。④ loses は現在形です。なお後半は since then があるため、今までの継続を表す has been looking になっています。
- (10) 正解④:彼はアメリカに住んでいたころ、何度もシカゴを訪れました。
 [解説]when he lived in the U.S. が「アメリカに住んでいたころ」という過去の期間を表しているので、visit も過去形 visited にする必要があります。① has visited と② has been visiting は現在完了系なので、明確な過去の文脈とは合いません。③ has been visited は受動態で、「彼が訪問された」という意味になり不自然です。過去の反復的行為を表す過去形 visited が最も適切です。
- (11) 正解③:私は子どものころ、中国に 3 年間住んでいましたが、中国語はまったく話せません。
 [解説]when I was a child があるので、空所は「子どものころ」の事実を述べる過去形になります。したがって lived が正解です。① have been は現在完了で、今とのつながりを表す形なので、この明確な過去とは合いません。④ had lived は過去完了で、比較される別の過去時が必要です。but 以下が現在でも、前半は過去の経験なので、単純過去 lived を用います。
- (12) 正解③:「その映画を見たことがある?」「うん。東京にいたとき、3 回見たよ。」
 [解説]A の Have you ever seen ...? は現在完了ですが、B は When I was in Tokyo という過去の時点を示しています。したがって「東京にいたとき 3 回見た」は過去形 saw を用います。① had seen は過去完了で、さらに別の過去との前後関係が必要です。② have seen は現在完了で、when I was in Tokyo のような明確な過去時とは合いません。④ would see も不適切です。
- (13) 正解④:「アインシュタインが肉をやめたって知ってた?」「うん。確か、亡くなる 1 年前に厳格な菜食主義者になったんだよね。」
 [解説]one year before he died があるので、空所は過去の一点で起こった出来事を表す過去形になります。したがって stopped eating が正解です。① hadn't stopped eating は過去完了ですが、ここでは単に「やめた」という事実を述べれば十分です。② has been stopped

from eating は受動態で意味が不自然です。③ has stopped eating は現在完了で、明確な過去時と合いません。

(14) 正解④:左に曲がってまっすぐ行けば、右手にその駅が見つかるでしょう。

[解説]If you turn left and go straight の if 節は条件を表す副詞節です。副詞節中では未来のことも現在形 turn, go を用い、主節で未来を表す will find を使います。① are found は受動態、② found は過去形、③ have found は現在完了で、いずれも文意に合いません。「～すれば、～だろう」という未来の結果を表す will find が正解です。

(15) 正解④:彼が次にいつ来るのか、私にはわかりません。

[解説]when he () next time は、I have no idea の内容を表す名詞節です。名詞節の when は「いつ～するのか」という意味なので、未来のことは will come で表せます。① comes は副詞節の when なら使われますが、この文は「いつ来るときに」ではなく「いつ来るのか」という内容を表しているので不自然です。② has come、③ coming も文法的に合いません。名詞節の未来は will come が正解です。

(16) 正解④:来年の夏までは、そのプールは工事中です。

[解説]until next summer は未来のある時点まで続く状態を表しています。したがって、空所には未来の状態を示す will be が入ります。① was は過去、② has been は現在完了、③ had been は過去完了で、いずれも next summer という未来の時点と合いません。under construction は形容詞句のように用いられ、「工事中で」という状態を表すので、未来の状態 will be under construction が自然です。

(17) 正解①:ジョンソン夫人は、その計画を完成させるのにあと 2 か月かかるだろうと私に言っています。

[解説]it () two more months to complete the project は「完成まであと 2 か月かかる」という未来の内容です。したがって will take が正解です。tells me が現在形でも、伝えている内容はこれから先の見通しなので未来形になります。② takes だと一般的事実のように響き、ここでは不自然です。③ had taken は過去完了、④ has taken は現在完了で、どちらも文脈に合いません。

(18) 正解④:静かにしてください。私は今、難しい問題に取り組んでいます。

[解説]now があるので、「今まさに進行中の動作」を表す現在進行形が必要です。したがって am working が正解です。① work は現在形で習慣や反復を表す形、② worked は過去形、③ have worked は現在完了で、「今取り組んでいる最中」という意味にはなりません。be quiet という命令文も、「今この場で静かにしてほしい」状況を示しており、現在進行形を選ぶ大きな手がかりになります。

(19) 正解③:私は今昼食を食べています。あとで来てくれますか。

[解説]at the moment があるので、空所には「今この瞬間に進行している動作」を表す現在進行形 am having が入ります。have lunch は「昼食を食べる」という表現です。① had は過去形、② have had は現在完了で「すでに食べ終えた」という意味に近く、④ had had は過去完了です。後半の Can you come back later? も、「今は取り込み中だから後で」という流れな

ので、現在進行形が自然です。

- (20) 正解④:「あの有名な桜の木は公害で弱ってきていますね。」「ええ、何とかして救わなければなりません。」

[解説]is dying は「死にかけている」「しだいに弱ってきている」という、変化の途中を表す現在進行形です。③ is dead だと「すでに死んでいる」という状態になり、後半の save it(それを救う)とつながりにくくなります。① has death は語形が誤りで、② has died は「すでに死んでしまった」という完了です。この文は「まだ助けられる段階」での進行中の変化を述べているので is dying が最適です。

- (21) 正解③:彼女はいつもそのボールを取りそこなっています。

[解説]is always missing は、進行形に always を組み合わせて、「いつも～してばかりいる」という反復的でやや非難めいた気持ちを表す言い方です。① to miss は不定詞、② missed は過去分詞、④ being missed は受動の進行形で、この文型には合いません。現在進行形は「今している最中」だけでなく、このように話し手のいら立ちや評価を込めて反復を表すこともあるので、その用法を押さえることが大切です。

- (22) 正解③:やめなさい。あなたはばかなことをしていますよ。

[解説]be being + 形容詞 は、「一時的にそのように振る舞っている」という意味を表します。You're being ridiculous は「今そういうばかな態度をとっている」という意味で、性格そのものを断定する You are ridiculous とは少し違います。① be、② been、④ to be はいずれも You're のあとに続く形として不適切です。この be being の形は珍しく見えますが、一時的な行動・態度を表す大切な用法です。

- (23) 正解②:「今夜ひま?」「ごめん、両親と夕食をとる予定なんだ。」

[解説]現在進行形は、今進行中の動作だけでなく、近い未来の個人的な予定・約束も表せます。この文では tonight があり、夕食の予定がすでに決まっているので I'm having dinner が正解です。① I had は過去、③ I've had は現在完了で「もう食べた」、④ I'd had は過去完了です。未来の予定を表す現在進行形の典型例として押さえておきたい問題です。

- (24) 正解②:彼らは明日、成田に到着する予定です。

[解説]are arriving は、近い未来の予定を表す現在進行形です。交通・移動に関する動詞 arrive, leave, come などは、決まった予定を表すとき現在進行形になりやすいのが特徴です。① arrived は過去形、③ is going to arrive は主語 They と一致せず、④ will be arrived は受動態で誤りです。tomorrow が未来を示していても、すでに予定として組まれている内容なので are arriving が最も自然です。

- (25) 正解①:「最近ユウコに会った?」「いや。でも日曜日に彼女と夕食をとる予定です。」

[解説]No, but I'm having dinner with her on Sunday. の現在進行形は、近い未来の約束・予定を表しています。on Sunday という具体的な未来の時を伴っており、すでに予定が入っていることがわかります。② I've been having は現在完了進行形で意味不自然、③ I'd have は仮定的、④ I've had は「もう食べた」です。会食の予定のように個人的に決まっている近未来は現在進行形で表せます。

(26) 正解④:トムが帰宅したとき、メアリーは居間で本を読んでいた。

[解説]When Tom came home が過去の一点を示し、その時点で進行中だった動作を表すので、過去進行形 was reading が正解です。① has read は現在完了、② is reading は現在進行形、③ reads は現在形で、いずれも came home という過去時と合いません。過去進行形は「そのときちょうど～していた」を表す形で、when + 過去形 と非常によく結びつくので、セットで覚えるとよいです。

(27) 正解①:私が2時間前にサンディーを見たとき、彼女は図書館で勉強していました。

[解説]when I saw her two hours ago が明確な過去の時点を表しているため、その時進行中だった動作は過去進行形 was studying で表します。② has studied、③ has been studying は現在完了系で、two hours ago のような明確な過去時とは原則として使えません。④ is studying は現在進行形です。過去の一点を示す語句と進行中の動作が組み合わさるとき、過去進行形を選ぶのが基本です。

(28) 正解④:電話が鳴り始めたとき、私は髪を洗っていました。

[解説]when the phone started ringing が過去の出来事を表し、そのとき空所の動作が進行中だったので過去進行形 was washing が正解です。① wash は現在形、② was washed は受動態で「洗われていた」、③ have been washing は現在完了進行形で、started ringing と時制が合いません。過去進行形は、進行中の背景動作を述べ、その最中に別の出来事が起きたことを表すときに用います。

(29) 正解③:昼食を食べているときに、私の携帯電話が鳴りました。

[解説]while は「～している間に」という意味なので、その後ろには進行形が来るのが自然です。したがって was having lunch が正解です。① have been having は現在完了進行形、② have had は現在完了、④ have は原形で、どれも rang という過去の出来事と合いません。while + 過去進行形、主節 + 過去形 は、英語で非常によく見られる基本パターンなので、形ごと覚えておくと役立ちます。

(30) 正解①:トムは家を建てていましたが、完成させることができませんでした。

[解説]but he couldn't finish it から、「完成の前まで進行していた動作」であることがわかります。したがって was building が正解です。② built だと「建てた」という完了した事実になりやすく、後半とやや矛盾します。③ has built は現在完了、④ had built は過去完了で、どちらも文脈に合いません。未完の途中経過を示す過去進行形 was building が最も自然です。

(31) 正解①:激しく雨が降り始めたとき、私たちは30分ほど野球をしていました。

[解説]when it started to rain very heavily が基準となる過去の時点で、その時までしばらく継続していた動作を表すので had been playing が正解です。play の前には be が必要なので、選択肢は had been になります。② have been は現在完了進行、③ might be は可能性、④ would be は仮定的で不適切です。「過去のある時点まで継続していた動作」は過去完了進行形で表すのが基本です。

(32) 正解②:来年の今ごろ、私は東京の商社で働いているでしょう。

[解説]at this time next year は未来のある時点を示す表現なので、その時点で進行中の動

作を表す未来進行形 will be working が正解です。① have been working は現在完了進行形、③ have worked は現在完了、④ was working は過去進行形です。未来進行形は「未来のその時には～しているだろう」という意味で、at this time tomorrow / next year などとよく結びつきます。

(33) 正解①:今日の午後ケンが学校から帰るころ、母親はローストチキンを料理しているでしょう。

[解説]When Ken comes home from school this afternoon が未来の一点を示しているため、その時進行中の動作を表す未来進行形 will be cooking が正解です。選択肢では will be を選びます。② would be は過去の未来、③ has been は現在完了、④ had been は過去完了です。未来進行形は「その時にはちょうど～しているところだろう」という場面を表すのに適した形です。

(34) 正解④:大統領は明日の夕方、テレビに出演しているでしょう。

[解説]tomorrow evening という未来のある時点で進行中の動作を述べているので、未来進行形 will be appearing が正解です。① will have appeared は未来完了で「その時までに出演し終えている」、② has been appearing は現在完了進行、③ could have appeared は「出演したかもしれなかった」で文脈に合いません。appear on TV は「テレビに出演する」という意味で、未来進行形と相性のよい表現です。

(35) 正解①:明日の夜6時には会えないと思います。たぶんまだ仕事をしていますでしょう。

[解説]at six tomorrow night という未来の時点で進行中の動作を表すので、未来進行形 I'll still be working が正解です。② I'll still work は単純未来で、「その時に働くだろう」という継続の感じが弱くなります。③ I'm still at work と④ I'm still working は現在の話になってしまい、tomorrow night と合いません。未来進行形は未来のある時点の最中を描く形です。

(36) 正解:At this time tomorrow we will be traveling on the train.

[解説]「明日の今ごろ」は at this time tomorrow で表します。「列車の旅に出かけているでしょう」は、未来のその時点で進行中の動作なので未来進行形 will be traveling を用います。on the train は「列車で・列車に乗って」の意味です。語順は At this time tomorrow / we / will be traveling / on the train となります。未来進行形の基本パターンをそのまま当てはめればよい整序問題です。

(37) 正解①:静かにして。外で変な音が聞こえる。

[解説]hear は原則として状態動詞なので、進行形にしません。したがって hear が正解です。② am hearing は「今聞いている最中」としたくなりますが、hear は「自然に聞こえる」という意味なので不適切です。③ had been hearing は過去完了進行形、④ had heard は過去完了で、どちらも文脈に合いません。Listen! があっても、空所の動詞は listen ではなく hear なので、状態動詞として現在形を用いる点が重要です。

(38) 正解①:静かにして。外で変な音が聞こえる。

[解説](37) と同じく、hear は「自然に耳に入る」という状態動詞なので、普通は進行形にしません。そのため現在形 hear が正解です。② am hearing は誤りやすい形ですが、英語では

hear を listen のように進行形で用いることは通常ありません。③ have heard は「今までに聞いたことがある」の意味になり、④ was hearing は過去進行形なので不適切です。状態動詞は進行形にしないという原則を確認する問題です。

(39) 正解③:私たちは中学で出会って以来、6年間ずっと知り合いです。

[解説]since we met in junior high school six years ago があるので、過去のある時点から今まで続く状態を表す現在完了が必要です。know は状態動詞なので、進行形ではなく have known を用います。① were known は受動態で意味不自然、② were knowing は過去進行形で誤り、④ have been knowing も know を進行形にしているので普通は使いません。状態の継続は have known で表すのが基本です。

(40) 正解③:妻と私は高校時代からの知り合いです。

[解説]since we were in high school があるので、過去から現在まで続く状態を表す現在完了が必要です。know は状態動詞なので have known が正解です。① got to know は「知り合いになった」という瞬間的変化で、since といっしょに継続の意味では使えません。② have been knowing は状態動詞を進行形にしているため不自然です。④ know は現在形で、since が表す「ずっと」の感じを十分に出せません。

(41) 正解②:マイクとビルは子どものころから互いを知っています。

[解説]since they were children が起点を表しているので、現在までの継続を示す現在完了 have known が正解です。① know だけでは「今知っている」という現在の状態しか示せず、since と対応しにくくなります。③ have been knowing は know を進行形にしており不自然です。④ will have known は未来完了で、文意に合いません。状態動詞 know は、継続を表すとき have known の形で覚えるのが重要です。

(42) 正解④:ケンとマイクは仲のよい友達で、子どものころから互いを知っています。

[解説]since childhood があるので、「子どものころから今までずっと」の継続を表す現在完了 have known が正解です。① are knowing と③ have been knowing は know を進行形にしているので誤りです。② are known は受動態で、「知られている」という意味になってしまいます。good friends という現在の状態ともつながるので、過去の起点から現在まで続く関係を表す have known が最も自然です。

(43) 正解③:その建物全部があなたのものだということですか。

[解説]belong to は「～に所属している」「～のものである」という状態を表す動詞です。そのため進行形にも受動態にもできず、現在形 belongs が正解です。① is belonged は受動態で誤り、② is belonging も状態動詞を進行形にしているため不自然です。④ belong は主語 the whole building が三人称単数なので、三単現の -s が必要です。状態動詞 belong は通常、単純現在で用いることを確認する問題です。

(44) 正解③:私の兄は会社のバスケットボールチームに所属しています。

[解説]belong to ～ は「～に所属している」という状態を表す表現なので、進行形にはせず belongs to を用います。① is belonging と② is belonging to はどちらも誤りです。④ belongs だけでは to his company's basketball team が続かず不完全です。主語 My

brother は三人称単数なので belong ではなく belongs to になる点も重要です。状態動詞の扱いと、belong to の語法の両方を確認しておきましょう。

(45) 正解①:彼は父親に似ていると思いますか。

[解説]resemble は「～に似ている」という状態を表す動詞で、通常は進行形にしません。したがって resembles が正解です。② is resembling は進行形で不自然です。また、resemble は他動詞なので、③ resembles to や ④ resembles with のように前置詞を付けることもありません。主語 he は三人称単数なので、動詞は resembles となります。状態動詞であることと、前置詞不要の他動詞であることを合わせて押さえる問題です。

(46) 正解③:「ジョンとメアリーはまだニューヨークに住んでいるの?」「いいえ、ダラスに引っ越したところです。」

[解説]No, they have just moved to Dallas. は、「今はもうニューヨークに住んでいない」という現在の結果を表す現在完了です。just があるので「ちょうど今しがた」の意味が加わります。

① are just moved は受動態で不自然、② had just moved は過去完了で基準となる別の過去が必要、④ will just move は未来で文脈に合いません。現在への影響が残る完了用法なので have just moved が正解です。

(47) 正解③:「ジョンとメアリーはまだニューヨークに住んでいるの?」「いいえ、ダラスに引っ越したところです。」

[解説]この問題も(46)と同じく、現在完了の結果用法を問うものです。have just moved は「ちょうど引っ越したところだ」という意味で、今の状態につながっています。質問が Are John and Mary still living in New York? なので、「今はもう住んでいない」と答えるには現在完了が最適です。① are just moved は受動態、② had just moved は過去完了、④ will just move は未来を表すので、いずれも文脈に合いません。

(48) 正解④:私はその映画を2回見たので、その映画のことはよく知っています。

[解説]twice が「2回」という経験を表しており、その経験が現在の know all about that film につながっているので、現在完了 have seen が正解です。① am seeing は現在進行形で「今見ている」、② have been seeing は通常この文脈では不自然な現在完了進行形、③ will be seeing は未来進行形です。現在完了は「経験」と「現在へのつながり」を表せるので、この文には最も適しています。

(49) 正解②:彼女はおとといから学校を休んでいます。

[解説]since the day before yesterday があるので、「おとといから今までずっと」という継続を表す現在完了 has been が正解です。空所の後ろには absent from school という状態が続いており、have been absent の形になります。① was は過去形で現在につながらず、③ had been は過去完了で基準の過去が必要、④ will have been は未来完了です。since と現在完了の結びつきは非常に重要なので、必ず押さえない問題です。

(50) 正解③:私は一度アメリカに2年間住んだことがあります、グランドキャニオンには一度も行ったことはありません。

[解説]前半は once spent two years in the U.S. で「一度アメリカに2年間いたことがあ

る」という経験、後半は have never been to the Grand Canyon で「一度も行ったことがない」という経験を表します。therefore A=once, B=been の組み合わせである③が正解です。visited を使うなら to は不要ですし、ever は肯定文ではここでは不自然です。have been to ~ は経験、have gone to ~ は行ってしまって今ここにいない、という違いも確認したい問題です。

- (51) 正解④: 今度の日曜日で、彼は神戸に 3 年間いることになります。

[解説] Next Sunday と for three years があるので、「未来のある時点までの継続」を表す未来完了 will have stayed が正解です。① has stayed は現在完了、② stays は現在形、③ will stay は単純未来で、「その時までで 3 年になる」という継続完了の意味を出せません。未来完了は by next week, by next Sunday, by the end of ~ などとよく結びつき、未来の基準時までの継続や完了を表します。

- (52) 正解①: 来週までには、あなたはその小包を受け取っているでしょう。

[解説] By next week は「来週までに」という未来の期限を示す表現で、未来完了と強く結びつきます。したがって will have received が正解です。② receiving は動名詞・現在分詞、③ received は過去形・過去分詞、④ have received は現在完了で、いずれも by next week と合いません。未来完了は「その未来の時点までにはすでに終わっている」という意味を表すので、ここでは will have received が最も自然です。

- (53) 正解④: ポールのヨットは来年 3 月末までにはハワイに到着しているでしょう。

[解説] by the end of next March が未来の基準時を表しているので、空所には未来完了 will have arrived が入ります。① arrived は過去形、② has arrived は現在完了、③ used to arrive は過去の習慣で、どれも「来年 3 月末までに」という未来の期限と合いません。未来完了は、未来のある時点までの完了を表す形で、到着・終了・完成などの動詞と非常に相性がよいことを押さえておきましょう。

- (54) 正解③: エリックの友人たちは今夜 7 時にここへ来ます。その時までには、彼は宿題を終えているでしょう。

[解説] by then が「その時までには」を表しているので、空所には未来完了 will have finished が入ります。finish doing one's homework ではなく finish one's homework なので、will have finished doing his homework ではなく、単に will have finished doing で不自然です。① has been finished は受動態の現在完了、② has finished は現在完了、④ would finish は仮定的で文脈に合いません。未来のある時点までの完了なので未来完了が正解です。

- (55) 正解③: 私たちがホテルに着いたとき、結婚式はすでに始まっていました。

[解説] When we arrived at the hotel が基準となる過去の時点で、その時より前に wedding start が起きていたので、過去完了 had started が正解です。① started では「着いた時に始まった」感じが強くなり、already と合いにくくなります。② starts は現在形、④ has started は現在完了で、どちらも過去の文脈に合いません。過去のある時点より前の出来事は had done で表す、という基本を確認する問題です。

(56) 正解③:8年前に離れたその町へ私が戻ったとき、すべてが変わっていました。

[解説]文の基準時は When I went back to the town という過去で、「その町を離れた」のはそれよりさらに前です。したがって、より前の過去を表す過去完了 had left が正解になります。

① was leaving は進行中の意味、② have left は現在完了で現在とのつながりを表す形、④ was left は受動態なので不適切です。過去の二つの出来事を比べて、古いほうを had done にするのがポイントです。

(57) 正解①:私がホームに着いたとき、列車はすでに到着していたので、寒い中で待たずにすみしました。

[解説]when I reached the platform が過去の基準時で、その時点より前に列車の到着が完了していたため、had already arrived が正解です。already も完了の先行性を強く示しています。② has already arrived は現在完了で、過去の reached と合いません。③④は副詞 previously があっても動詞の形が不自然です。過去のある一点より前に完了していた出来事は、過去完了で表すのが基本です。

(58) 正解③:私は、姉が誕生日にくれた腕時計をなくしました。

[解説]文の主たる出来事は I lost the watch で過去です。その腕時計を姉が「くれた」のは、その lost より前に起こっています。したがって、過去よりさらに前の出来事を表す had given が正解です。① gives は現在形、② has given は現在完了、④ will give は未来形で、いずれも時制が合いません。関係代名詞節の中でも、主節より前のことなら過去完了になる点を確認しておきましょう。

(59) 正解③:私が教室に着いたとき、英語の試験はすでに始まっていました。

[解説]When I arrived at the classroom が基準の過去で、exam start はそれより前です。したがって、過去完了 had started が正解です。① has started は現在完了、② to start は不定詞で文法的に入らず、④ starts は現在形です。already がなくても、「着いたときにはもう始まっていた」という前後関係がはっきりしているので、過去完了を選びます。到着した時点で手遅れだった、という場面を表す典型問題です。

(60) 正解④:教授は、私が前日に書いた技術報告書を読みました。

[解説]The professor read ... が基準となる過去で、report write は the day before にすでに終わっています。したがって、過去完了 had written が正解です。① will be writing は未来進行形、② have written は現在完了、③ have been writing は現在完了進行形で、いずれも read という過去と合いません。the day before のような「その前日」という表現は、しばしば過去完了の手がかりになるので、見落とさないことが大切です。

(61) 正解①:私がホームに着いたとき、列車はすでに到着していたので、寒い中で待たずにすみしました。

[解説](57)と同じ構造で、reached the platform が基準の過去、その前に train arrive が完了していたので had already arrived が正解です。② has already arrived は現在完了なので過去の reached と並べられません。③④は形の上でも不自然です。センター試験型でよく出る「when + 過去形」に対し、もう一方がそれ以前に完了しているなら had done を選ぶ、という典型パターンとして覚えておきましょう。

(62) 正解④:教授は、私が前日に書いた技術報告書を読みました。

[解説](60)と同じで、read が過去の基準時、had written がそれより前の完了した動作です。the day before が「その前日」を表し、過去完了を選ぶ決め手になっています。① will be writing は未来進行形、② have written は現在完了、③ have been writing は現在完了進行形で、どれも過去の read との前後関係を適切に表せません。過去完了は「より前の過去」を示す形だと理解しておくことが重要です。

(63) 正解②:私が2時間前にサンディーを見たとき、彼女は図書館で勉強していました。

[解説]when I saw her two hours ago が、はっきりした過去の時点を示しています。その時点で進行中だった動作を表すので、過去進行形 was studying が正解です。① has studied と③ has been studying は現在完了系で、two hours ago のような明確な過去時とはふつう使いません。④ is studying は現在進行形で、今この瞬間の動作になります。過去の一点と、その時進行中だった動作の組み合わせでは過去進行形を選びます。

(64) 正解④:私は長い間トムに会っていません。最後に彼に会ったのはいつですか。

[解説]When have you seen him last? は誤りです。last は明確な過去を表す語なので、ここは現在完了ではなく過去形を用いて When did you see him last? としなければなりません。① haven't seen は for a long time と結びつく現在完了で正しいです。② for、③ a long time も適切です。したがって誤っているのは④です。現在完了は last, yesterday, just now などの明確な過去時とは使えない、という重要な原則を問う問題です。

(65) 正解④:トムは先月、友人に会うためにサンフランシスコへ行きました。

[解説]last month があるので、空所には明確な過去を表す過去形 went が入ります。③ has gone は現在完了で、「行ってしまって今ここにいない」という意味になりますが、last month のような明確な過去時といっしょには使いません。① goes は現在形、② is going は現在進行形で、いずれも時制が合いません。現在完了と過去形の区別は、過去時を示す語句があるかどうかで判断するのが基本です。

(66) 正解②:彼はたった今帰宅しました。知らなかったのですか。

[解説]just now は「たった今」という意味ですが、英語では明確な過去を表す副詞として扱われるため、動詞は過去形 came が正解です。③ has come としたくなるかもしれませんが、現在完了は just now とはふつう使いません。① comes は現在形、④ had come は過去完了で、どちらも不適切です。日本語の感覚では現在完了に見えても、英語では just now なら過去形、という点をしっかり押さえておきましょう。

(67) 正解③:高速道路への新しい道があります。彼らはそれを昨日開通させました。

[解説]文中に yesterday があるので、空所には過去形 opened が入ります。just があるため現在完了にしたくなるかもしれませんが、yesterday のような明確な過去時がある場合は現在完了は使いません。① are opening は現在進行形、② have opened は現在完了、④ would open は仮定的・意志的な響きがあり不適切です。現在完了と過去形の区別では、まず yesterday, last week, in 2011 などの語句を見つけることが重要です。

(68) 正解④:彼はアメリカに住んでいたころ、何度もシカゴを訪れました。

[解説]when he lived in the U.S. が過去の期間を表しているため、訪れたという動作も過去形 visited にします。① has visited、② has been visiting は現在完了系なので、明確な過去の文脈とは合いません。③ has been visited は受動態で、「彼が訪問された」という意味になってしまいます。過去の期間中に何度も行った、という反復的な過去の出来事なので、単純過去 visited が最も自然です。

(69) 正解④:彼はたった今ホテルに着きました。

[解説]この just now も (66) と同じで、英語では明確な過去の副詞として扱います。したがって arrived という過去形が正解です。① has arrived は現在完了で、just now とは通常いっしょに使いません。② arrives は現在形、③ had arrived は過去完了で、いずれも文脈に合いません。日本語では「今着いたところ」と言えるので迷いやすいですが、英語では just now なら過去形、と整理して覚えるとよいです。

(70) 正解①:ああ、もうその仕事は終わったのですね。いつ終えたのですか。

[解説]When did you finish it? が正しい形です。when はここで、終えた時点という明確な過去をたずねているので、過去形 did you finish を用います。③ When have you finished it? は現在完了になっており誤りです。② When do you finish it? は現在の習慣や予定をたずねる響きになり、④ When will you finish it? は未来の意味です。過去の具体的な時点を問うときは、現在完了ではなく過去形を使うのが原則です。

(71) 正解②:私は先週から先生へのプレゼントを探していますが、まだ見つかりません。

[解説]since last week があるので、「先週から今までずっと続いている動作」を表す現在完了進行形 have been looking が正解です。look for は「探す」という継続的動作なので進行形が自然です。① had been looking は過去完了進行形で基準の過去が必要、③ am looking は現在進行形で「今だけ」の動作になり、since と合いません。④ was looking は過去進行形です。since + 時点は現在完了(進行)を選ぶのが基本です。

(72) 正解③:私たちはこの大学に入って以来、互いを知っています。

[解説]since we entered this college があるので、過去から現在までの継続を表す現在完了が必要で、know は状態動詞のため進行形にせず、have known を用います。① are knowing、② knew、④ would know はいずれも継続の意味を正しく表せません。状態動詞は「have been ~ing」ではなく「have done」で継続を表すという重要なルールを確認する問題です。

(73) 正解④:私たちは3時間歩き続けていますが、まだその町に着けません。

[解説]for three hours があるので、「3時間ずっと続いている動作」を表す現在完了進行形 have been walking が正解です。① would walk は仮定、② walk は現在形で習慣、③ are walking は現在進行形で「今だけの動作」となり、for three hours と合いません。継続時間を表す for + 期間 があるときは、現在完了進行形をまず疑うのが重要です。

(74) 正解①:私たちはみな雪にうんざりしています。4週間ずっと雪が降り続けています。

[解説]for four weeks now があり、「4週間ずっと続いている動作」を表すので現在完了進行形 has been snowing が正解です。② is snowing は現在進行形で一時的、③ snowed は

過去、④ will be snowing は未来進行形で文脈に合いません。snow のような自然現象も、継続しているときは現在完了進行形で表せる点を押さえましょう。

(75) 正解③:初めて運動会で会って以来、パットとパムはずっとメールのやり取りをしています。

[解説]Ever since they first met ... があり、過去の一点から今まで続く動作なので現在完了進行形 have been emailing が正解です。① are emailing は現在進行形で「今だけ」、② emailed は過去、④ will email は未来です。meet が起点、email がその後の継続行為という関係をとらえ、継続動作には have been ~ing を使うと判断するのがポイントです。

(76) 正解①:列車が到着したとき、私たちは 30 分近く待っていました。

[解説]when the train arrived が過去の基準で、その時点までの継続動作を表すので過去完了進行形 had been waiting が正解です。② have been waiting は現在完了進行形、③ have waited は現在完了、④ will have waited は未来完了で不適切です。「過去のある時点までずっと~していた」は had been ~ing で表すという基本パターンです。

(77) 正解③:ボブは発見される前、2 日間小さなボートで漂流していました。

[解説]before he was found が基準の過去で、それ以前から続いていた状態なので過去完了進行形 had been drifting(選択肢では had been)が正解です。① has been は現在完了、② is は現在形、④ have been は現在完了でいずれも不適切です。before / whenなどで過去の基準が示されているときは、その前の継続を had been ~ing で表すのがポイントです。

(78) 正解④:ブラウン氏は、依頼人が到着したとき、30 分近く待っていました。

[解説]when his client arrived が基準の過去で、その時点まで続いていた動作を表すので had been waiting が正解です。① will have waited は未来完了、② has been waiting は現在完了進行形、③ has waited は現在完了で不適切です。過去のある時点までの継続動作は「had been ~ing」で表すという典型パターンを確認します。

(79) 正解①:激しく雨が降り始めたとき、私たちは 30 分ほど野球をしていました。

[解説]when it started to rain が過去の基準で、それまでの継続動作を表すので had been playing が正解です。選択肢は had been を選びます。② have been は現在完了進行形、③ might be は可能性、④ would be は仮定で文脈に合いません。「ある過去の時点まで継続していた動作」は had been ~ing を使うという鉄則問題です。

(80) 正解③:来月末までで、彼はその地元の病院で 10 年間働いていることになります。

[解説]by the end of next month と for 10 years があるので、「未来のある時点までの継続」を表す未来完了進行形 will have been working が正解です。① has worked は現在完了、② has been working は現在完了進行形、④ is working は現在進行形で不適切です。未来の基準時+継続期間があれば、未来完了進行形を疑うのがポイントです。

(81) 正解④:彼は 30 歳になるまでに、人生の半分の期間フランス語を学んでいることになるでしょう。

[解説]By the time he is thirty が未来の基準時を示しており、「その時までの継続」を表す未来完了進行形 will have been studying(選択肢では will have been)が正解です。①は語順・語法ともに不自然、② will be は単純未来、③ has been は現在完了で文脈に合いません。未来の時点までの長期継続には future perfect progressive を用いる点を確認しましょ

う。

(82) 正解:been:空港まで友だちを見送りに行ってきたところです。

[解説]have just been to A は「A に行って、今はもう戻ってきている」という意味です。この文では、「空港まで友だちを見送りに行ってきたところだ」と言っているので、have just been to the airport が正解です。have gone to A だと「A に行ってしまって、今ここにはいない」という意味になってしまい不適切です。been と gone の違いは、話し手・主語が今ここに戻っているかどうかで判断するのが大切です。

(83) 正解:been:空港まで友だちを見送りに行ってきたところです。

[解説](82) と同じく、空港へ行って、今は戻ってきている状況を表しているので have just been to the airport が正解です。have been to A は「A に行ったことがある」「A に行って戻ってきた」のどちらかの意味を表しますが、この文では just があるため「行ってきたところ」という完了・結果の意味になります。have gone to A にすると、まだ空港にいてここにはいないことになってしまうので不適切です。

(84) 正解:We have just been to Nara and now we are leaving for Kyoto.:奈良にちょうど行ってきたところですが、これから京都へ向かいます。

[解説]「奈良に行ってきたところ」で、しかも「これから京都へ行く」と続いているので、今は奈良から戻っている、または少なくとも奈良訪問を終えて次へ向かう状況です。したがって have been to Nara が正解です。不要語は gone です。have gone to Nara だと「奈良へ行ってしまって今ここにはいない」の意味になり、and now we are leaving for Kyoto どうまくつながりません。been と gone の意味の差を見抜く典型問題です。

(85) 正解③:メアリーは今日欠席しています。北海道へ行ってしまったのです。

[解説]She has gone to Hokkaido. は、「北海道へ行ってしまって、今ここにはいない」という意味です。欠席している理由としてぴったり合うので has gone が正解です。② has been は「北海道へ行ったことがある」「行って戻ってきている」になり、今日 absent である理由になりません。① comes は現在形、④ has arrived は「到着した」で、to Hokkaido の意味関係が合いません。have gone to A は不在の理由を述べるときによく使われます。

(86) 正解④:「中国へ行ったことがありますか。」「はい、1回だけあります。」

[解説]B の Yes, only once. から、「経験」をたずねていることがわかります。したがって Have you ever been to China? が正解です。①は場所の情報、②は「いつ行ったか」をたずねる過去の一点、③は感想をたずねる表現で、どれも only once とは合いません。have been to A は「A へ行ったことがある」という経験を表す基本表現なので、have gone to A との違いとあわせて確実に覚えておきましょう。

(87) 正解①:あなたが戻ってくるまで、私は家でテレビを見ています。

[解説]until は時を表す接続詞なので、その節の中では未来のことも現在形を用います。したがって you come back が正解です。③ you will be back としたくなりやすいですが、時・条件の副詞節中では will を用いないのが原則です。② you be back は動詞の形が誤り、④ you will have been back は未来完了で不適切です。主節が未来でも、until 節は現在形に

なるという大原則を確認する問題です。

- (88) 正解③:彼女が来るまで、私はここで待っています。

[解説]until she comes のように、until 節は時を表す副詞節なので、未来のことでも現在形 comes を使います。④ will come は日本語に引きずられて選びやすい誤答ですが、英語では時・条件の副詞節内に will を置かないのが原則です。① came は過去形、② come は三単現の -s が欠けています。主節が I will wait と未来でも、従属節側は現在形にする、というルールをしっかりと押さえましょう。

- (89) 正解①:あなたが戻ってくるまで、私はここで待っています。

[解説](88) と同じく、until 節は時を表す副詞節なので未来の内容でも現在形を使います。したがって come back が正解です。② will come back、④ will have come back はともに future の形を含んでおり不適切です。③ are coming back は進行形で、文法的に絶対不可ではありませんが、この型では単純現在が基本であり、選択肢の中では①が最も適切です。時の副詞節では「未来でも現在形」が鉄則です。

- (90) 正解②:英単語を 1000 語覚えたら、英字新聞が読めるようになるでしょうか。

[解説]when I have learned a thousand English words の when 節は時を表す副詞節です。したがって未来のことでも will have learned ではなく、現在完了 have learned を用います。「1000 語覚え終わったら」という完了の意味を出したいので、単純現在よりも have learned が自然です。① am learning は「覚えている途中」、③ will have learned は副詞節中なので不可、④ will learn も同様に不可です。時の副詞節では未来完了の意味でも現在完了を使える点が重要です。

- (91) 正解①:空港に着いたら、私に電話をくれますか。

[解説]when you arrive at the airport の when 節は、時を表す副詞節です。副詞節では未来のことでも現在形を使うので、arrive が正解です。③ will arrive は日本語では自然に見えますが、英語では誤りです。② arrived は過去形で文脈に合わず、④ are arrived は受動態のような誤った形です。主節が Can you give me a call ... と未来志向でも、when 節は現在形になるという基本ルールを確認する問題です。

- (92) 正解③:彼女が帰宅したら、この伝言を渡してくれますか。

[解説]誤りは ③ will come です。when she will come home は、when 節が時を表す副詞節なので誤りで、正しくは when she comes home とします。① hand、② to her は正しく、④ home も問題ありません。日本語では「帰ってきたら」と未来の感じが強いので will を入れたくなりますが、時・条件の副詞節では未来のことでも現在形を使う、という原則を思い出すことが大切です。

- (93) 正解③:彼女が帰宅したら、私に電話をかけ直すようメアリーに頼んでもらえますか。

[解説]when she comes home の when 節は時を表す副詞節なので、未来のことでも現在形 comes を使います。④ will come は日本語的には考えやすいものの、英語の規則上は不可です。① came は過去形、② come は三単現の -s がなく不適切です。主節の Could you ask ... は依頼表現で、内容は未来に向いていますが、従属節側は現在形にするというルールを

確認する問題です。

- (94) 正解①:あなたが駅に着くころ、ホストファミリーが駅で待っているでしょう。

[解説]when you arrive の when 節は時を表す副詞節です。したがって、未来の内容でも現在形 arrive を使います。③ will arrive は日本語に引きずられた誤答です。② arrived は過去形、④ would arrive は仮定的で文脈に合いません。主節 will be waiting は未来進行形で、そのころ進行中の動作を表していますが、when 節はそれでも現在形にする、という組み合わせがポイントです。

- (95) 正解①:彼女は6時ごろここに来ると言っていました。とにかく、彼女が来たら知らせます。

[解説]I'll tell you when she comes. の when 節は「彼女が来たら」という時を表す副詞節なので、comes が正解です。③ will come としたくなりますが、副詞節では will を使いません。② had come は過去完了、④ would come は過去の未来で不適切です。前半に she would be here about six とあるため混乱しやすいですが、後半の when は時の副詞節として別に判断する必要があります。

- (96) 正解②:もし天気よければ、私たちは明日その青空市場へ行きます。

[解説]if the weather is nice の if 節は条件を表す副詞節です。条件節の中では未来のことも現在形を用いるので、is が正解です。① will have been は未来完了で不適切、③ were は仮定法的な響きがあり、④ had been は過去完了です。主節の will go が未来であっても、if 節の中には未来形を置かないというルールが英語の基本なので、しっかり区別しましょう。

- (97) 正解③:明日雨が降れば、私は外出しません。

[解説]if it rains tomorrow の if 節は条件を表す副詞節なので、未来のことも現在形 rains を用います。④ will rain は日本語的には自然でも、英語では誤りです。① rain は主語 it に対して三単現の -s が必要で、② rained は過去形なので文脈に合いません。if / when / until などの副詞節では未来でも現在形、という時制の原則をそのまま使えば解ける問題です。

- (98) 正解④:明日雨が降れば、その試合は中止になるでしょう。

[解説]if it rains tomorrow の if 節は条件を表す副詞節です。したがって未来のことも現在形 rains を用います。③ will rain は誤りやすい選択肢ですが、副詞節では will を使わないのが原則です。① raining は分詞、② to rain は不定詞で、どちらも節の動詞にはなれません。主節 will be called off が未来を表し、if 節は条件を現在形で示すという典型的な組み合わせです。

- (99) 正解②:もしまもなく雨がやめば、散歩に出かけませんか。

[解説]If it stops raining soon の if 節は条件を表す副詞節なので、未来のことも現在形 stops を用います。③ will stop は英語の規則上誤りです。① stopped は過去形、④ would stop は仮定的な意味になり、この文脈には合いません。stop doing は「～するのをやめる」という表現で、ここでは stop raining で「雨がやむ」となります。副詞節内では未来でも現在形、をそのまま適用します。

- (100) 正解①:私たちが読み終わるとすぐに忘れてしまう本もあります。

[解説]as soon as we have read them の as soon as 節は時を表す副詞節なので、未来

のことで現在形系を用います。ここでは「読み終わったらすぐ」という完了の意味が強いため、単純現在より have read が自然です。② will have read と③ will read は副詞節中なので不可です。④ reading は動詞として使えません。as soon as, after, when などの副詞節では、未来完了に相当する意味でも現在完了を使うことがある点がポイントです。

(101) 正解④:その本を読み終わったらすぐに返さなければなりません。

[解説]as soon as 節は時を表す副詞節なので、未来のことで現在形系を用います。「読み終わったら」の完了を表すため have finished が最も自然です。② will have finished、③ will finish は副詞節中なので不可です。① are finishing は進行中の意味で、「終わったらすぐ」という完了のニュアンスに合いません。主節 you have to return... が義務を表し、as soon as 節でタイミングを示す典型パターンです。

(102) 正解④:それをやり終わったら、すぐに夕食の準備を始めてほしい。

[解説]As soon as you have done that は時の副詞節で、「やり終わったら」という完了を表します。副詞節では未来でも will を使わないため、have done が正解です。① will do、② will have done はいずれも副詞節中では不可、③ did は過去で文脈に合いません。主節 I'd like you to start... は依頼表現で、完了直後に次の行動を求める構文です。as soon as + 現在完了の用法を押さえましょう。

(103) 正解①:田中さんは今外出中で、いつ事務所に戻るのかわかりません。

[解説]when he will be back は know の目的語となる名詞節です。名詞節では未来のことは will を用いて表せるため、will be back が正解です。② is back は「戻っている状態」を表し不自然、③ is being back は誤用、④ be back は原形で文法的に不適切です。when が副詞節か名詞節かを見分け、名詞節なら未来形を使える点が重要です。

(104) 正解④:「ビルはまだあなたの車を使っているの?」「うん。いつ返すのだろうね。」

[解説]I wonder when he will return it の when 節は名詞節(疑問文の間接語法)なので、未来のことは will return とします。① has returned は現在完了で「すでに返した」、② returned は過去、③ returns は現在形でいずれも不適切です。副詞節なら現在形になりますが、この文は「いつ返すのか」という内容を述べる名詞節なので will を用いる点を区別しましょう。

(105) 正解④:田中さんは今外出中で、いつ事務所に戻るのかわかりません。

[解説](103)と同様に、when 節は名詞節なので未来は will be back で表します。① be back は原形で不可、② is back は状態の現在、③ is being back は誤用です。文の骨格は I don't know + 名詞節 であり、「いつ戻るのか」という未来内容を述べるため will を使える点がポイントです。副詞節との違い(副詞節では現在形)を明確に区別しましょう。

(106) 正解④:「ビルはまだあなたの車を使っているの?」「うん。いつ返すのだろうね。」

[解説](104)と同じく、when 節は wonder の目的語となる名詞節なので will return が正解です。① has returned は完了、② returned は過去、③ returns は現在形でいずれも不適切です。間接疑問(I wonder when ...)では語順は平叙文で、時制は内容に応じて選びます。未来の内容なら will を用いる、という原則を押さえます。

(107) 正解③:彼が今日の歓迎会に来るかどうか、彼女は確信がありません。

[解説]if he will come は not sure の内容を表す名詞節です。名詞節では未来のことを will で表せるため、will come が正解です。① comes は副詞節なら可ですがここは名詞節、② had come は過去完了、④ would come は仮定的で文脈に合いません。if が「～かどうか」の意味で用いられているか(名詞節)、「もし～なら」(副詞節)かを見分けることが重要です。

(108) 正解①:彼が来年の春に戻ってくるかどうか、私にはわかりません。

[解説]if 節は know の目的語となる名詞節なので、未来は will come で表します。② comes は副詞節なら可ですがここでは不自然、③ came は過去、④ had come は過去完了です。来年の春という未来時が明示されているため、名詞節内でも will を用いるのが自然です。名詞節か副詞節かの識別がカギです。

(109) 正解①:天気予報は、雨が降るかどうかを予測します。

[解説]whether it will rain or not は predicts の目的語となる名詞節で、未来の事柄を述べるため will rain が正解です。② has rained は完了、③ must rain は義務・推量、④ has been raining は進行完了で、いずれも「これから降るかどうか」という内容に合いません。whether/if が名詞節で使われるときは、内容に応じて未来形が使える点を確認しましょう。

(110) 正解①:去年は本をあげましたが、来週のパーティーでは CD をあげるつもりです。

[解説]be going to do は、すでに決まっている近い未来の意志・予定を表します。この文では next week と具体的な予定があり、話し手の意図も明確なので am going to give が正解です。② give は現在形、③ have given は現在完了、④ will have given は未来完了で不適切です。意図・計画が事前にある場合は will より be going to が自然になる点を押さえます。

(111) 正解②:あの黒い雲を見て。もうすぐ雨が降りそうです。

[解説]Look at those black clouds. という目の前の状況からの判断なので、空所には be going to do を用いた is going to が入ります。be going to は、すでに見えている兆候・根拠にもとづく近い未来の予測を表すのに適しています。① wouldn't は否定の仮定、③ do は原形、④ shall not も文法・意味の両面で不自然です。will と be going to の違いを確認する典型問題です。

(112) 正解:We were about to leave when Matthew said hello.:私たちが立ち去ろうとしたとき、ちょうどマシューがあいさつしてきました。

[解説]be about to do は「今にも～しようとしている」という意味です。この文では、leave がその直後に起こりそうだった動作で、when Matthew said hello がその直前に起きた出来事です。したがって We were about to leave when ... となります。about to の後ろは動詞の原形を置く点、また「～しようとしたとき」に続いて when 節がよく来る点をまとめて覚えるのが大切です。

(113) 正解③:上司が入ってきたとき、私はちょうど外出しようとしていました。

[解説]be about to do は「ちょうど今にも～しようとしている」という意味で、動作が始まる直前の状態を表します。この文では I was about to go out when my boss came in. という形になるので、about to が正解です。① thinking of は「～しようかと考えている」、② free of は無関係、④ aimed to は語法上不自然です。when 節と組み合わせて、直前に起こりそうだった

た動作を表す定番表現として押さえましょう。

- (114) 正解:(a) have passed since / (b) has been since / (c) died ago / (d) has been dead:母が亡くなってから10年になります。

[解説]「～してから10年になる」は、複数の代表表現で言い換えられます。Ten years have passed since my mother died. / It has been ten years since my mother died. / My mother died ten years ago. / My mother has been dead for ten years. の4通りです。die は瞬間動詞なので継続を表すときは has been dead を使う点が重要です。問題文では、この4パターンをまとめて確認させています。

- (115) 正解:It's three years since I had a real vacation.:本格的な休暇をとって3年になります。

[解説]「～してから…年になる」は It is [has been] + 時間 + since S + 過去形 で表せます。したがって It's three years since I had a real vacation. が正解です。since の後ろは現在形ではなく過去形 had になる点が重要です。日本語では「3年間休暇をとっていない」と考えられますが、英語では「最後に本格的な休暇をとってから3年たつ」という発想で表現するのが自然です。

- (116) 正解①:その2社が合併してから10年になります。

[解説]It has been ten years since the two companies merged. という定型表現です。It has been [時間] since ... は「…してから[時間]になる」を表します。② has passed は主語 It と合わず、Ten years have passed since ... の形なら可です。③ is passed は受動態で不適切、④ passed も文が成り立ちません。同じ内容でも It has been ... since と Ten years have passed since の両方の言い換えを覚えておくと便利です。

- (117) 正解③:私が家を離れてこの町で働くようになってから10年になります。

[解説]Ten years have passed since I left my home to work in this city. という形が正解です。主語が Ten years なので、動詞は複数扱いで have passed になります。① had passed は過去完了で基準の過去が必要、② passed では現在までの継続が表せず、④ is passed は受動態で誤りです。「It has been ten years since ...」と「Ten years have passed since ...」は同内容の代表表現なので、両方使えるようにしておきましょう。

- (118) 正解④:彼女が最後に祖国へ帰ってから、もう10年以上になります。

[解説]It is over ten years since she last went back to her own country. という定型表現です。It is [時間] since ... は「…してから[時間]になる」を表します。① after、② as、③ before は、いずれもこの構文では使いません。since の後ろは過去形 went back になっており、「最後に帰国した時点」から今までの経過時間を述べています。時制表現の中でも頻出の定番構文なので、形ごと覚えることが大切です。

- (119) 正解①:私の祖父は1965年に長い病気の末に亡くなり、そのとき父はまだ子どもでした。

[解説]in 1965 があるので、空所には明確な過去を表す過去形 died が入ります。② dead は形容詞で動詞にはなれません。③ was died は受動態のような誤った形です。④ has died は現在完了ですが、in 1965 のような明確な過去時とはふつう使いません。die は瞬間的な出来事

を表す動詞なので、時を表す語句とともに過去形で用いられることが多い、という基本を確認する問題です。

(120) 正解③:私の犬はこの4年間ずっと死んだままです。

[解説]die は瞬間動詞なので、「4年間死んでいる」という継続は has been dead で表します。したがって③が正解です。① dies は現在形、② had died は過去完了、④ was dead は過去の状態で、these four years のような現在までの期間とは合いません。瞬間動詞はそのままで継続を表しにくいので、状態を表す形容詞 dead に置き換えて have been dead とするのが大切な考え方です。

(121) 正解④:「あの有名な桜の木は公害で弱ってきています。」「ええ、何とかして救わなければなりません。」

[解説]is dying は「死にかけている」「弱ってきている」という変化の途中を表す現在進行形です。③ is dead だと「すでに死んでいる」という状態になり、後半の save it とつながりにくくなります。① had death は語形が誤り、② has died は「もう死んでしまった」という完了です。まだ救う余地がある状況を表しているので、変化の途中を示す is dying が正解になります。

(122) 正解①:「あの女の子はどうして泣いているの。」「飼い猫がたった今死んでしまったからです。」

[解説]just があるので、空所には「ちょうど今起きた結果」を表す現在完了 has just died が入ります。② has been dead は「死んだ状態が続いている」、③ has been died は誤り、④ is just dying は「今まさに死にかけている」で、will never come back to life と合いません。die は瞬間動詞なので、「たった今死んだ」という完了・結果は has just died で表すのが自然です。

(123) 正解②:あの歌手は3回結婚し、3回離婚しました。

[解説]marry は目的語を取る他動詞ですが、この文では相手が示されていないため、be married and divorced three times のように受け身的な形が自然です。① was marrying は進行形で不適切、③ will marry は未来、④ marries は現在形です。結婚・離婚の回数を述べるときは、受け身の be married / be divorced がよく用いられる点に注意しましょう。

(124) 正解①:私の姉は、自分よりずっと背の低い男性と結婚しました。

[解説]marry は他動詞なので、married a man ... が正解です。②・③・④は同一表記に見えますが、意図としては get married や be married との区別を問う問題です。get married を使うなら to a man が必要ですが、この文では a man が直接目的語なので marry を用います。marry + 人、get married to 人、be married to 人 の違いを整理して覚えることが大切です。

(125) 正解①:私のいとは最近、すてきな女性と結婚しました。

[解説]recently から現在完了を考えたいと思いますが、marry は相手を直接目的語に取る他動詞です。この文は to a wonderful woman が続くので、表現としては got married to a wonderful woman が自然です。したがって① got married が正解です。② has married は目的語が必要、③ is marrying は進行形、④ married だけだと to との結びつきが不自然です。結婚を表す語法の違いを確認する問題です。

(126) 正解①: スミス夫妻は、もう 50 年間結婚しています。

[解説] for 50 years now が継続期間を表しているので、「結婚している状態の継続」を表す have been married が正解です。② are married は現在の状態だけで期間の継続が弱く、③ have been marrying は動作の進行で不自然、④ are marrying は「今まさに結婚している最中」です。marry は瞬間的な出来事なので、継続を言うときは married を形容詞的に用いて have been married とするのが基本です。

(127) 正解③: 今度の 5 月で、私たちは結婚して 20 年になります。

[解説] This coming May が未来の基準時を、for twenty years が継続期間を示しているため、未来完了 will have been married が正解です。① had been married は過去完了、② had married は誤り、④ will marry は「結婚するだろう」で意味がまったく違います。結婚という瞬間動詞も、継続を表すときは be married を用い、それを未来のある時点までの継続にすると will have been married になります。

(128) 正解②: 彼らはあの春以来 10 年間結婚しています。

[解説] for ten years since that spring があるので、「結婚している状態の継続」を表す married が正解です。They have been married for ten years が基本形です。① marry は原形、③ marrying は進行形、④ to marry は不定詞で文法的に合いません。die / dead と同様に、marry という瞬間動詞はそのままでは継続を表しにくく、状態を表す married を使って have been married とするのが重要です。

(129) 正解④: 彼は今日の夕方 7 時までには宿題を終えているでしょう。

[解説] 未来完了 will have finished とよく結びつくのは by seven o'clock のような「その時まで」を表す前置詞 by です。① in は「～後に」、② for は期間、③ until は「～までずっと」で、この文には合いません。finish his homework という完了動作と、by seven o'clock という期限が対応しているので、未来完了の目印として by を選べるようにしておきましょう。

(130) 正解④: その登山隊は夕方まで山頂にとどまりました。

[解説] 「夕方まで」は、ある時点まで継続することを表すので until evening が正解です。① in evening は誤り、② for evening は期間の意味にならず、③ since evening は起点を表すので不適切です。stay のような継続動詞とは until がよく結びつきます。ある時点まで動作・状態が続くときは until、ある時点までに完了するときは by、という区別がここでは大切です。

(131) 正解②: 彼らは昨日 5 時間以上ダンスの練習をしました。

[解説] more than five hours は期間を表しているため、それを導く前置詞は for です。① in は「～後に」、③ until は「～まで」、④ by は期限を表すため不適切です。practice のような動作がどれだけの時間続いたかを表すときは for + 期間 が基本です。時制とあわせて、前置詞の使い分けも英文法では重要な判断材料になります。

(132) 正解③: 子どものころから、何かを続けてきたことがありますか。

[解説] you were a child は過去の一点・起点を示しているため、その前には since を置きます。① in は時の中、② for は期間、④ by は期限です。現在完了 have continued というように用いるとき、since は「いつから」、for は「どれくらいの間」を表します。この問題は、現在完了

と前置詞 since の結びつきを確認するものです。

(133) 正解①:彼らは 5 時間後に戻ってくると約束しました。

[解説]「5 時間後に」は in five hours で表します。① in が正解です。② for five hours だと「5 時間の間」、③ after five hours も日本語の直訳として出やすいですが、英語で「～後に」と未来の時点を示すときは in が自然です。④ at は時刻・地点に使う前置詞です。in+時間 は未来の到達時点を示す重要表現なので、時制問題とあわせて覚えておきましょう。

(134) 正解④:彼は昼休みの間、木の下で眠っていました。

[解説]「～の間じゅう」を表すのは during です。during the lunch break で「昼休みの間」となります。① at は一点、② for は期間、③ while は接続詞なので後ろに節が必要です。この文では the lunch break が名詞句なので、during を使います。while は while he was eating lunch のように節を導く、during は during lunch break のように名詞を伴う、という違いを押しえることが大切です。

(135) 正解④:会議は正午に始まるので、遅れないでください。

[解説]noon は時刻の一点なので、それを表す前置詞は at です。① in は期間・範囲、② for は期間、③ by は「その時まで」を表すため不適切です。start のような一点で始まる動作と、at noon のような時刻表現はよく結びつきます。時制の問題では動詞の形に目が向きがちですが、時を表す前置詞の正確な使い分けも同じくらい大切です。

(136) 正解②:祖父はそこ、よく川へ魚釣りに行っていました。

[解説]in those days は「そこは」という過去の習慣を表す語句なので、動詞は過去形 went が正解です。① goes は現在の習慣、③ has gone は現在完了で「行ってしまった」、④ is going は現在進行形です。過去の習慣を表す副詞句があるときは、used to や would のほか、単純過去でも表せることを押しえておきましょう。

(137) 正解②:このごろ、多くの子どもたちは夕食後に携帯電話で動画を見ます。

[解説]These days は「このごろは」という現在の一般的傾向・習慣を表す語句です。したがって watch の現在形が正解です。① watched は過去、③ have watched は現在完了、④ have been watching は現在完了進行形で、ここで求められている「最近の一般的習慣」には重すぎます。these days, nowadays, at present などは、文脈によって現在の習慣を表す現在形と結びつくことが多い点を確認しましょう。

(138) 正解②:今日では、人々は仕事にも勉強にもインターネットを使います。

[解説]Nowadays は「今日では」という現在の一般的事実・習慣を表す語句なので、空所には現在形 use が入ります。① used は過去、③ have used は現在完了、④ were using は過去進行形で、どれも現在の一般的事実という内容に合いません。普遍的事実ほど不変ではなくても、「現代では普通そうだ」という内容は、英語では現在形で表すことが多い点を押しえるのが大切です。

(139) 正解③:先日、私は車で昔の同級生の一人に会いました。

[解説]the other day は明確な過去の一日を表すので、動詞は過去形 met が正解です。① meet は現在形、② have met は現在完了で、明確な過去時を表す the other day とは使え

ません。④ am meeting は現在進行形で不適切です。the other day, yesterday, last week, just now などがあれば、まず過去形を考える、という基本姿勢が重要です。

(140) 正解③:私は、いつか留学したいという夢がかなうことを期待しています。

[解説]some day は「いつかそのうち」という未来を表す語句なので、空所には will come が入ります。① comes は現在形、② came は過去、④ has come は現在完了です。dream come true は「夢がかなう」という表現で、期待している内容は未来のことなので will come true となります。時を表す語句を見て、現在・過去・未来のどの方向の内容かをまず判断することが大切です。

(141) 正解③:彼女は新しい仕事のために、最近ずっと忙しくなっています。

[解説]recently があるので、現在までの変化を表す現在完了 has become が正解です。① will become は未来、② becomes は現在形で習慣・一般事実、④ has been becoming は通常このような文では不自然です。become は変化を表す動詞で、recently, lately, so far などとともに「最近～になってきた」という意味を表すとき、現在完了がよく使われます。

(142) 正解③:このところ、父は仕事のあととても疲れているので、早く寝ます。

[解説]Lately は現在までの最近の傾向を表すので、空所には現在完了 has felt が入ります。① felt は単純過去、② feels は単純現在、④ is feeling は進行形で、この文では不自然です。現在完了は、過去のある時点から今までの経験・変化・継続を表しますが、lately のような語と結びつくと「最近ずっと～だ」という意味を出しやすくなります。

(143) 正解②:現在では、多くの人が少なくとも週に1回は在宅勤務をします。

[解説]At present は「現在では・今では」という意味で、ここでは一般的な現状・習慣を述べています。したがって work が正解です。① worked は過去、③ have worked は現在完了、④ were working は過去進行形で不適切です。at present は文脈によって現在進行形とも結びつきますが、この文は many people の一般的傾向を述べているので、現在形 work を選ぶのが自然です。

(144) 正解③:弟は今、明日のテストに向けて部屋で勉強しています。

[解説]at the moment があるので、「今まさに進行中の動作」を表す現在進行形 is studying が正解です。① studies は現在形で習慣、② studied は過去形、④ has studied は現在完了です。My brother という三人称単数主語に対して be 動詞は is になります。at the moment, now, right now などは現在進行形を選ぶ大きな手がかりになるので、反射的に判断できるようにしておきましょう。

(145) 正解①:近ごろ、私の父はバスで通勤しています。

[解説]Nowadays は現在の一般的な習慣・傾向を表すので、現在形 goes が正解です。② has gone は現在完了で「行ってしまった」、③ used to go は過去の習慣で「昔は通っていた」、④ went は単純過去です。この文では「最近の通勤手段」という現在の習慣を述べているので、現在形が最も自然です。Nowadays, these days, at present などは、現在の習慣を表す現在形とよく結びつく語句として整理しておきましょう。